

本時のねらい

- ・育てている野菜の成長の変化に気づく。
- ・iPad の活用を通して自分の思いを表現する力を身につける。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・毎日の観察を写真で撮影することで、比較しながら視覚的に野菜の成長を記録することができる。
- ・野菜の写真を取り成長記録にまとめることで、画像の挿入・文字の打ち方など基本的なタブレットの使い方を身につけることができる。
- ・野菜の成長記録を動画にすることで多様な表現方法を身につけ、児童同士の交流を促進することができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Apple TV
- ・大型モニター
- ・学習支援アプリ（ロイロノート）
- ・iMovie（児童の実態に合わせて）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	○学習内容を確認する。 本時のめあて「自分の伝えたいことを動画で表そう」 ・本時の流れ ・前時のアンケートの振り返り 【写真 1】	・大型モニターにつないだ Apple TV と iPad のミラーリング機能を使い、iPad の画面を提示して課題を確認する。これにより、視覚的に理解しやすいようにする。 ・前時の振り返りアンケートの結果を提示し、本時はよりよい活動ができるように意識させる。
展開 (30 分)	○育てている野菜の写真を撮りに行く。 ○教室にもどり、観察記録を作成する。 ○児童のよい工夫例を共有する。 ○交流しながら動画を仕上げる。 【写真 2】	・写真を使うことにより、視覚的に伝えることができる。 ・写真を連結させることにより、野菜の成長過程をまとめられる。 ・音声や効果音などを用いることで、相手を意識した自己表現の実現を意識させていく。 ・児童同士で交流することで、よりクオリティの高い作品をめざす。
まとめ (10 分)	○ロイロノートに観察記録を提出する。 ○ロイロのアンケートを使い、振り返りアンケートを行う。 【写真 3】 <振り返りアンケート質問項目> ①成長がわかる写真が撮れたか。 ②自分の考えを記録できたか。 ③友だちのいいところをみつけられたか。 ④野菜動画を通して自分の気持ちを表現できたか。	・ロイロノートに提出することで、児童全員の作品を共有することができる。 ・アンケートは、項目の選択方式によって本時の自分の取り組みに当てはまるものを選ぶようにさせる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】 前時の振り返りアンケートを提示し、意識してほしい項目を共有している場面



【写真 2】 友だち同士で交流しながら、動画を仕上げている場面



【写真 3】 振り返りアンケートに答えている場面

児童生徒の反応や変容

- ・動画を作成することで、長期間の取り組みを楽しくまとめることができた。
- ・タブレットの操作方法を少しずつ紹介していくことで、作品に必要な表現方法を児童自身が選択しながらとり入れることができた。
- ・分からないことがあると教師に聞くだけでなく、友だちに「教えて」と声をかけにいく子が増えた。また、ひとりではできなかった児童が、友だちと協力しながら動画を作成することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・動画編集スキルは個人差があるため、使用するアプリやツールを児童本人に選択させることが重要だと感じた。
- ・振り返りアンケートを活用することで、文章や言葉にすることが難しい児童も活動を振り返ることができる。